



山の学習 みごとなトライ!

6月14日(火)、15日(水)に、2年ぶりに行われた山の学習。ぐずついた天気をもともせず、心が晴れやかになる活動がいっぱいありました。まさに、スローガンである「たきび(楽しく、切りかえ、ビビらずトライ)」をみごとにやってのけました。

初日の午前中は、カヌーとウッドバーニング。天気に阻まれるかと思ったカヌーでしたが、心配するほどの増水はなく、「おやじの会」による強力なサポートによって、大人と一緒にカヌーに乗りながら、安心、安全に実施することができました。中には親子で乗ったカヌーもあり、仲むつまじく微笑ましい姿がいくつか見られました。水遊びする子たちも元気いっぱい笑顔いっぱい、乙川での活動を大いに楽しむことができました。



ウッドバーニングでは、初めて使う電熱ペンを巧みに使い、焦げ具合を調節しながら濃淡をつけて、自分の似顔絵を描くことができました。山の学習の記念に残るオリジナルの作品に仕上げることができ、満足げな表情がたくさん見られました。

午後からは、飯ごう炊さん。ごはん係、まき係、炉係、おかず係に分かれて、協力しながらカレーライスづくり。ガスコンロやIHではなく、まきを細かく割り、煙に涙しながらうちわで必死に火を大きくする。食材を自分たちで適度な大きさに切り、食材に火が通っているかチェックしながらカレーを煮込んでいく。ごはんも炊飯器ではなく、適切な量の水を入れて炊き具合を木の棒で確認しながら飯ごうで炊く。文明の利器に頼らずつくるカレーライスが、こんなにも時間がかかり大変だとはきっと知らなかったことでしょう。でも、男女一緒に班で協力しながら作るのも、苦労以上にわくわく感がいっぱい。飯ごうのふたを開けた瞬間、ふっくらと炊けたご飯を目にしたときの感動や、大自然の中で友達



と一緒に食べたカレーライスの格別な味は、きっと忘れられないものになったに違いありません。食べ終わった後は、次に使う学校が気持ちよく使えるために、飯ごうや鍋、流しをきれいにする必要があります。少年自然の家では、森や川に住む生き物を守るために、指定の石けんしか使えません。なかなか汚れが落ちず一苦勞で、後片付けの大変さも感じることもできたでしょうね。

飯ごう炊さんを通して、友達と協力することの大切さやみんなと一緒に作り上げていくことの楽しさ、何よりも、普段自分たちのご飯を作ってくれているおうちの人への感謝の気持ちを育てることができました。

☆保護者の皆様へ 登下校中の熱中症対策について

- ① 黄色の安全帽子の代わりに、通気性のよい帽子、日よけ効果の高い帽子の着用可。
- ② 首に冷感タオル等の着用可。安全な使用、持ち物への記名を確実にお願いします。

